



令和2年5月30日

〈10月1日更新〉

「新型コロナ予防・拡大防止 砂川市地域交流センターゆう施設利用ガイドライン」

砂川市地域交流センターゆうは、6月1日より通常開館となりましたが、利用の際にはこのガイドラインを守っていただき、ゆうでの文化芸術活動をお願いします。このガイドラインは、ガイドライン適用日の間における施設利用の基準をまとめたものです。

尚、この内容に関しましては、国、北海道の基準を基に、併せて（公社）全国公立文化施設協会のガイドラインも参考にし、砂川市と協議の上、利用者の皆様にご案内とお願いをするものです。

1.ガイドライン適用日について

令和2年10月1日（木） ～ 令和2年11月30日（月）

※今後、新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）の感染症の状況等を踏まえ、国、北海道の基準を参考に砂川市と協議の上、段階的に緩和若しくは解除等の見直しをしていきます。

（6月30日更新、10月1日更新）

2.施設の感染予防対策について

- ・外からの玄関に手指消毒（ヒビスコールS H）の設置。
- ・三つの密を回避するような配置、掲示をします。
- ・館内の換気を励行し常時行います。
- ・手で触る接触部分の清掃・除菌の徹底（机、いす、ドアノブ、自動販売機等のボタン類 他）
- ・諸室の利用ごとに机・イスの消毒除菌を行います。
- ・トイレ内のハンドドライヤーはウィルスを拡散する恐れがあるため使用禁止。ハンカチ等は各自持参してください。
- ・トイレの蓋を閉めてから、汚物を流すよう啓発。
- ・給湯室には手洗いが出来るように、ポンプ式のハンドソープを設置し、固形石鹸は撤去します。
- ・給湯室のコップ及び湯茶用の湯飲み類は撤去します。必要な場合は各自持参をお願いします。
- ・館内での飲食については[諸室により制限事項があります。](#)
- ・大声で会話をする利用者に注意喚起をします。
- ・厚生労働省の接触確認アプリ「COCOA」や「北海道コロナ通知サービス」の活用を励行
- ・感染防止のための必要な掲示をします。

3.施設利用者様に守っていただく事について

次の事項を守っていただく共に活動団体や主催者が参加者間へ周知・連絡をお願いします。

①利用・入室される方のマスクを必ず着用して下さい。ただし、ホール鑑賞以外の活動では、活動内容や体質によりマスクを着用できない場合は、フェイスシールド等で代用してください。

②3つの密（密閉・密集・密接）回避の徹底をして下さい。

③「手洗い」と「咳エチケット」の徹底をして下さい。

④入館・入室する際には必ず手指消毒をするよう周知をお願いします。

⑤活動に参加される方へ、自宅での検温を予めお願いしてください。

37.5℃以上の発熱があった場合や次項の「入場制限」に該当する者は、来館をご遠慮ください。

（連絡できなかった参加者や活動中に具合が悪くなった方には、事務室の非接触型体温計を貸し出します）

⑥飲食（食事）は室内では対面や会話を制限した中でとることは可能となりましたが、ロビーに於いての食事は当面の間、制限します。また、食器等は使い捨ての紙容器を用い共用を避けてください。また取り箸や銘々皿を使うようにしてください。感染予防の観点から食器類は貸出しませんので、必要な物を各自持参ください。

⑦室内は2方向から常時換気に努め、特別な場合を除きドアは開放してください。ドアを閉じて行う場合は1時間ごとに換気をして下さい。

※冬季間も、活動中は定期的に窓を開け空気の入替えをお願いするため、暖房効率が下がり室温が例年より低くなることが予想されますので、来場者の衣服にお気遣いをお願いします。

⑧活動で使う道具等の消毒は、各団体主催者が使用前後に行ってください。消毒に必要な用品は各団体主催者が用意してください。

⑨更新版の「ガイドライン適用中の諸室最大収容人員一覧表」の最大収容人員を守ってください。

⑩机・イスの配置は1m（できれば2m）の間隔をあけるよう守ってください。2人掛けまで可。

⑪大きな声の会話や、唾が飛沫するような活動はひかえるようお願いします。

⑫活動の参加者名簿（氏名・連絡先）を作成し団体で保管してください。

万が一、感染者及び感染の疑いが発生した場合には、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため当館より保健所などの公的機関に提供する事がありますので、情報開示にご協力ください。

尚、お預かりした個人情報、目的外に使用せず厳重に管理します。

⑬その他、団体ごとの活動内容によって、別途お願いする場合があります。

4.ガイドライン適用中の諸室最大収容人員一覧表〈10月1日更新〉

室名	延べ床面積 (㎡) 当初最大収容人員	コロナ 最大収容人員	備考
大ホール	686 ㎡ / 500 名	市内規模 500 人	内容により異なるため要相談
ミニホール	138 ㎡ / 100 名	市内規模 100 名	教室形式は 64 名
控室 A	23 ㎡ / 2 名	2 名	※据え置き
控室 B、控室 C	16 ㎡ / 5 名	4 名	※据え置き
大研修室	80 ㎡ / 60 名	32 名	教室形式 2 人掛
中研修室	53 ㎡ / 30 名	20 名	教室形式 2 人掛
小研修室	40 ㎡ / 10 名	7 名	※据え置き
食品工房	109 ㎡ / 40 名	27 名	※据え置き
I T 交流室	42 ㎡ / 10 名	10 名	対面しない配置
多目的工房	65 ㎡ / 22 名	14 名	※据え置き
交流談話室	84 ㎡ / 55 名	16 名	※据え置き
交流スペース	838 ㎡	-	内容により異なるため要相談

※大ホール及びミニホールの定員については、収容率が

①入場制限

次の症状等がある者は入館をお断りしますので、ご理解とご協力をお願いします。

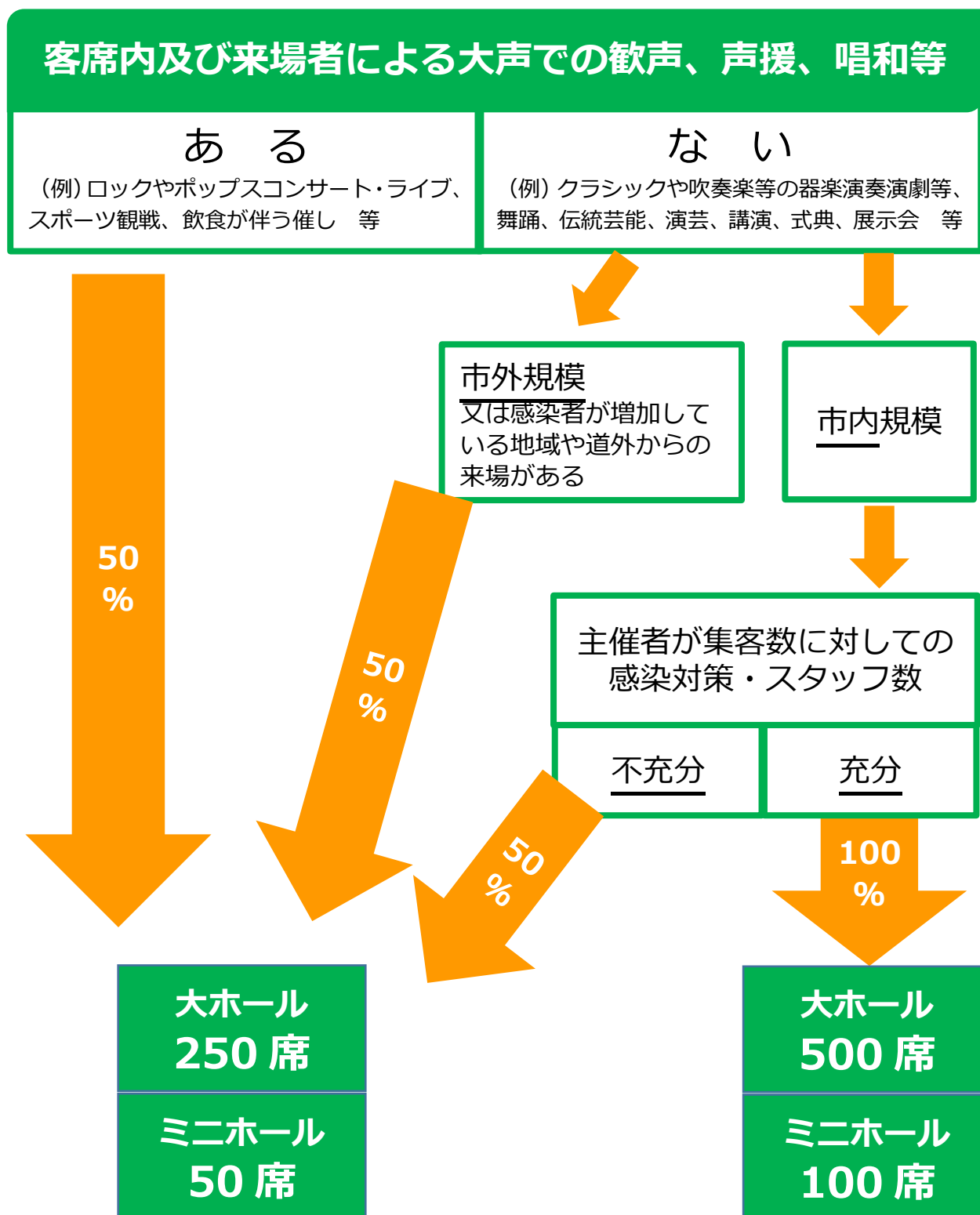
- ①検温の結果、37.5℃以上の発熱があった場合
- ②咳・咽頭痛の他、**呼吸困難**、全身倦怠感、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐などの症状がある場合もご遠慮ください。
- ③新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある方
- ④過去 2 週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合 等
- ⑤大きな声の会話や、唾が飛沫するような行為をしている方
- ⑥**P C R 検査で陽性とされたものとの濃厚接触がある場合 等**

②大ホール及びミニホールの収容率

基本的にマスク着用が守られない活動、密になる活動や行為があるもの、ソーシャルディスタンスが守れない活動は許可できません。

※政府のイベント収容率の緩和により 10/1～11/30 までは、催事内容を次の分類で 100%が 50%に大ホール及びミニホールの収容率が変わります。12 月以降の対応については未定。

③収容率の目安 （令和2年10月1日（木）～同年11月30日（月）まで）



※このフローチャートは、あくまで目安ですので、催事の予約段階で打ち合わせさせていただき収容率を決定します。

※平土間で使用する場合も催事の予約段階で打ち合わせさせていただき収容率を決定します。

※異なるグループ間では座席を1席空け、親子等の同一グループ（5名以内）では間隔をあけなくても可。このため収容率は50%を超える場合も考えられます。

5.利用の申し込みや窓口対応について

■受付

- ・受付窓口には、飛沫感染予防のウィルスガードを設置しています。
- ・受付窓口前の立ち位置を表示していますので、2 番目の方は所定の場所でお待ちください。
- ・受付員は、感染予防のためマスクおよびグローブを着用していますので予めご了承ください。
- ・金銭のやり取りは、手渡しではなく「カルトン」を利用した受け渡しにご協力ください。
- ・サークル利用者には、月次締めで一括支払いをお願いします。(常時利用サークルには後納許可)

■打合せや面会

- ・事務室に入室する際には、手指消毒とマスク着用をお願いします。(事務室用アルコールを設置)
- ・貸館利用者は、事務室内入口近くのテーブルで接客させていただきます。先客があり事務室に入れない場合は、ロビーでお待ちください。
- ・湯茶は当面控えさせていただきます。

6.諸室毎で守っていただく事について

■研修室・多目的工房・交流談話室

- ・「3.施設利用者に守っていただく事」の協力お願い
- ・利用人数をお守りください。密にならないければ、机 1 本に 1～2 人がけまで可。対面で座る場合には斜になるよう工夫をしてください。
- ・対面で座らない。向かい合う場合は斜になるよう配置ください
- ・活動で使う持ち込んだ道具類は各団体に消毒ください

■食品工房

- ・「3. 施設利用者に守っていただく事」の協力お願い
- ・利用人数をお守りください。調理中も密にならない様にご配慮ください。
- ・対面にならず、向かい合う場合は斜になるよう配置
- ・室内の調理器具は使用可能。調理した後の試食は対面や会話を制限した中でとることは可能となりましたが、食器等は使い捨ての紙容器を用い共用を避けてください。また取り箸や銘々皿を使うようにしてください。

■I T交流室

- ・「3. 施設利用者に守っていただく事」の協力お願い
- ・利用人数をお守りください。
- ・対面にならず、向かい合う場合は斜になるよう配置
- ・ノートパソコン持参される方は別室で wifi 利用も可能です。

★ホールの利用に当たっては、クラスターを防ぐ観点から以下の全項目を遵守ください。

公演及び講演会等不特定多数を集める利用、関係者のみの利用、リハーサルや練習で舞台のみの利用等すべてに当てはまります。(但し、練習等には該当しない部分があります)

①全員マスク着用

出演者、主催者、観客等来館者全員、マスクを着用してください。

- ・チラシ、ポスター等で開催告知される場合は「マスク着用での来館」を表示してください。
- ・客席内ではマスク着用を必須とし、未着用来場者に対しては配布や販売等や、個別に注意等を行うことにより着用を徹底してください。
- ・「入場制限」に当てはまる方の入場をお断りするようお願いします。

②体調チェックの実施

- ・来館者全員の体調チェックを行ってください。自宅で検温してきた場合は省いて可。
- ・大ホール利用がある場合はサーマルカメラにより体温を測定出来る様、会館職員が設置しますが、体温異常者が発生した場合への対応策については主催者が検討し対応してください。また再検温のための体温計等は主催者で用意してください。
- ・37.5℃以上の発熱があった場合は入館不可。
- ・咳・咽頭痛の他、[呼吸困難](#)、全身倦怠感、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐などの症状がある場合もご遠慮ください。

③手指の消毒の徹底

出演者及びスタッフ、来館者全員、入場時の手指を消毒。また、消毒液への誘導表示を行うとともに誘導員を必ず配置してください。(会場入口に設置する消毒は、主催者が準備する事)

④入場者リストの管理

入場者リストの管理(氏名、連絡先等)を把握する工夫をお願いします。

[接触確認アプリ「COCOA」](#)や[「北海道コロナ通知サービス」](#)の活用を促進してください。

⑤集団感染(クラスター)が発生したと疑われる事例が発生した場合

集団感染(クラスター)が発生したと疑われる事例が発生した場合は、入場者リストの提出等保健所・医療機関等へ出来る限りの協力をお願いします。

⑥休憩時間や入退場時間

[会場の収容人数や入退場経路等を考慮し、余裕ある時間を設けてください。](#)

[また、休憩時間や入退場時には会話抑制を周知や必要な場合は口頭で注意をしてください。](#)

⑦ロビーの過ごし方

「密」にならないように注意喚起を掲示し、ロビー等での近距離における対面での会話や滞留を抑制するようにお願いします。必要な場合は口頭で注意をしてください。

また、ロビーでの飲食は、会話の抑制するよう声かけを行ってください。

※ロビーでの飲食は、給水や菓子程度を想定し、食事をとることは不可。

⑧当日券販売や物販

極力キャッシュレスが望ましいが、現金の取扱いは接触をできるだけ減らす工夫（カルトンやウィルスガードを利用する等）してください。また、不特定多数が触れるようなサンプル品・見本品は極力取り扱わないでください。

⑨チケットもぎり

チケットもぎりは、来場者が自分で半券を切って箱に入れ、公演主催者がそれを目視で確認するといった方式等にし、接触をしないように工夫してください。

また、プログラム等の配布資料は手配りせず、各自が手で取る若しくは机に事前に配置する等工夫してください。

⑩出演者・公演関係者への対応

出演・登壇される方及び公演関係者については以下の項目を徹底してください。

- ・公演 1 週間前より体調管理を把握し、発熱や体調不良がある場合は自宅待機
- ・来場時も必ず検温を行い、発熱や体調不良がある場合は自宅待機
- ・公演及びリハーサル時以外の行動時にはマスク着用
- ・手指消毒を徹底
- ・待機場所等での間隔の確保。密にならないように定員を調整するとともに換気を励行
- ・観客と接触する演出の禁止
- ・ケータリングは、使い捨ての紙食器を使用するなど、十分な感染防止対策を講じること
- ・公演後の面会等、公演関係者と来場者の接触は控えるように周知
- ・プレゼントや差し入れ等は控えてください

⑪換気対策

公演中に休憩時間を設けたり、客席の扉は何度か開放し換気をしてください

特に支障がない場合は利用中、常時開放をご検討ください。

⑫観客の入退場時の対応

- ・入退場時や集合場所における十分な間隔（最低1m できるだけ2m を目安）の確保。入場時には行列のための立ち位置の目印設置や誘導員を配置するなど工夫をお願いします。
- ・退場時には必要に応じて規制退場を実施したり誘導員を配置するなど工夫をお願いします。
- ・トイレの混雑が予想される場合、公演主催者が最低1m（できるだけ2m を目安に）の間隔を空けた整列を促すような工夫をお願いします。

⑬座席配置

四方を空けた座席配置（前後左右の座席を空ける）を徹底すること。座席配置は予め会館と座席配置図面をもって打ち合わせし、本番当日は座席配置が守られるように客席内に掲示や誘導員を配置してください。

⑭観客席における声援や激しい動きの制限

観客席における会話や激しい動きを制限すること。また、収容率に応じ、観客席における歓声・声援・唱和等がないよう、公演パンフレット等の掲示物への記載や影アナで周知するようお願いします。

7.館内清掃について

- ・委託業者に依頼し、清掃及び消毒は徹底し実施します。
- ・接触部分、全てのドアノブ、受付窓口、自販機等のボタン、トイレ、ロビーのイスは定期的に消毒・清掃します。
- ・貸館が終わった場合、室内のドアノブ、電気等のスイッチ、机、いす、台車、窓の取っ手、冷蔵庫の取っ手、リモコン類を消毒・清掃します。

8.職員の取り組みについて 「新北海道新スタイル」安心宣言

①職員のマスク着用や小まめな手洗いを徹底します。

- ・事務室入口に手指消毒とマスクの設置

②職員の健康管理を徹底します。

- ・自宅で検温。（事務室に非接触型体温計の設置）
- ・疑いのある症状がみられる職員の自宅待機

③施設内の定期的な換気を行います。

④設備、器具などの定期的な消毒・洗浄を行います。



⑤人と人との接触機会を減らすことに取り組みます。

- ・一定の距離（2 m程度）を確保するソーシャルディスタンス。
- ・ウィルスガードなどの活用。
- ・受付窓口対応の時にはディスポグローブ着用
- ・時差出勤

⑥お客様にも咳エチケットや手洗いを呼びかけます。

⑦施設内掲示やホームページなどを活用し、取組をお客様に積極的にお知らせします。

（感染症対策の可視化（見える化））

日々、新型コロナウイルス感染症の収束に向け、ご協力をいただきありがとうございます。
このガイドラインをもとに、安心して利用できる環境に努めてまいります。感染症の予防には、引き続き皆様のご理解とご協力が不可欠です。

市民の皆様の文化芸術活動が再開し、生活に感動や賑わいが再び戻ります様、皆様のご利用をお待ちしております。

一日も早く収束に向かうことを願いながら、皆様におかれましては、どうぞお身体には十分にお気をつけの上、お元気でお過ごしくださいますようお願い申し上げます。



————— お問い合わせ先 —————

砂川市地域交流センターゆう 指定管理者：NPO法人ゆう

住所：〒073-0153 砂川市東3条北2丁目3-3

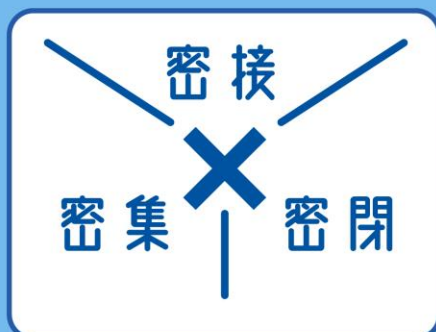
電話：0125-54-3111 / FAX：0125-54-3119

Mail：you@you.or.jp

ゆう貸館利用の 「新しい生活様式」

2020年6月1日～

みんなで協力・予防して、文化活動を続けましょう！
文化で新しい生活も楽しみながらコロナをのりこえよう！



※詳細なガイドラインは、受付にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

ゆう大ホールでイベントを 安心して楽しんでいただくために

ゆうでは、皆様がホールで安心して楽しんでいただけるために、できる限りの対策を講じながらお迎えいたします。ご来場くださる皆様にも「withコロナ」の鑑賞エチケットにご協力をお願いします。

ご来場前に

発熱・体調の悪い方は、
入館ご遠慮願います



- ① 体調チェック
- ② チケット裏面に氏名
連絡先を事前記入

ご入場時に



- ③ 絶対! マスクと消毒
- ④ 入口で検温します。
- ⑤ もぎりはセルフで
お願いします。

ご鑑賞中は



- ⑥ 座席の間隔をあけて
います。
- ⑦ 咳エチケットを。
- ⑧ 会話はひかえて!

【ゆう大ホールのコロナ対策】

- ・（公財）全国公立文化施設協会のガイドラインを基に対策をしています。
- ・スタッフもマスク着用、体調管理を徹底しております。
- ・入り口でお客様の検温をさせていただきます。
- ・お座席の消毒をしています。
- ・感染対策のため座席は、間隔をあけています。
- ・座れない座席には右の図と同じフタが置いてあります。
- ・ペアになっている座席には、ご家族などの同居している方同士でお座りください。
- ・換気機能を高めるため、公演中も空調機の稼働とドアの一部開放をしています。

この座席はご利用できません



感染予防対策として
間隔をあけています

■次の方は入場制限をさせていただく場合があります。

- ・ 37.5度以上の発熱や下記の風邪症状があるお客様（入場時に検温します）
《 せき、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐 》
- ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触があるお客様
- ・ 過去2週間以内に政府から入国制限・外出制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触があるお客様。

砂川市地域交流センターゆう

※ご鑑賞にお越しの皆様には、ご不便をおかけしますがご理解とご協力をお願いします。